

指定通所介護 重要事項説明書

パドマ館通所介護（指定 兵庫県 2873301598 号）

標記の「パドマ館通所介護」が提供致します指定通所介護サービスについて、契約上ご注意頂きたいことを下記の通り説明致します。

(1)事業者

- | | |
|-----------|---|
| 1. 法人名 | 社会福祉法人 明照会 |
| 2. 所在地 | あそか苑 伊丹市中野西1丁目18番地
パドマ館 伊丹市中野西1丁目108番地の1 |
| 3. 電話番号 | 072-785-0109（あそか苑代表） |
| 4. FAX | 072-785-0124 |
| 5. 代表者氏名 | 理事長 善部 修 |
| 6. 設立年月日 | 平成4年2月15日 |
| 7. 主たる事業 | 特別養護老人ホーム あそか苑 |
| 8. ホームページ | http://www.asokaen.or.jp |
| 9. E-mail | info@asokaen.or.jp |

(2)あそか苑の概要

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 建物の構造 | 鉄筋コンクリート造地上4階建て |
| 2. 建物の延べ床面積 | 3,887.13 m ² |

パドマ館の概要

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 建物の構造 | 鉄筋コンクリート造地上2階建て |
| 2. 建物の延べ床面積 | 592.26 m ² |

(3) 指定通所介護事業の目的

介護保険法に従い、ご契約者(利用者)が、その有する能力に応じて可能な限り自立し日常生活を営むことができるように支援することを目的として、ご契約者に共用施設等をご利用いただき、通所介護サービスを提供いたします。

(4) 指定通所介護事業

1. 事業所の包括的名称 社会福祉法人 明照会 パドマ館デイサービスセンター
2. パドマ館通所介護事業管理者 吉永 誠二

(5) 明照会の経営方針

法人運営を理念とし、ターミナルケアを介護の目的としています。

1. 輝々と生き終る人生のサポートを行います。
2. プライバシーを尊重した介護に心がけます。
3. 認知症高齢者の生活を配慮した施設創りをします。
4. 歩いて入れる大浴場や、座ったままで入浴のできるリフト浴を利用しています。
5. 看護職員等による機能回復訓練を実施しています。
6. 音や色を取り入れて楽しみながら機能回復できるよう努力しています。
7. クラブ活動・遠足など生きがいがづくりを推進しています。

(6) 通常の事業の実施地域

1. 伊丹市
2. 尼崎市(西昆陽)
3. 宝塚市(安倉南 安倉中 安倉西 金井町 山本野里)
4. 川西市(久代)

上記地域以外のご利用についてはご相談下さい。

(7) 利用定員

1. パドマ館デイサービスセンター 27名

(8) 契約締結からサービス提供までの流れ

1. 利用者に対する具体的なサービス内容やサービス提供方針

「居宅介護サービス計画」(ケアプラン)がある場合はその内容を踏まえ、利用時に作成する通所介護に係る介護計画(以下「通所介護サービス計画」という)に定めます。

担当介護支援専門員(ケアマネジャー)より利用申込みをうけて、通所介護の生活相談員が利用に必要な聞き取り調査として面接を行います。

利用可能となった場合、重要事項説明と利用契約締結を行い利用開始となります。

(9) 職員の配置状況

パドマ館では、ご契約者に対して通所介護サービス提供する職員として、以下の職種の職員を配置しています。

デイサービスセンターの介護の職員配置(1日あたり)(*印:兼務を表示)

① パドマ館デイサービスセンター

職 種	通所介護	
	指定基準	職員配置
事業所長	* 1名	* 1名
生活相談員	1名	1名
介護職員	3名	3名
看護職員	* 1名	* 1名
機能訓練指導員	1名	*1名

(10) 配置職員の職種

1. 介護職員

ご利用者の日常生活上の介護並びに健康保持の為の相談・助言等を行い、サービス利用にあたっては直接介護を行います。

2. 看護職員

主にご利用者の健康管理や療養上の世話をしますが、日常生活上の介護なども行います。

3. 生活相談員

ご利用者の日常生活上の相談に応じ、適宜生活支援を行います。

4. 機能回復訓練指導員

ご利用者の機能回復訓練等を担当します。

(11)介護保険の給付の対象となるサービス

以下のサービスについては、利用料金の大部分が介護保険から給付されます。

1. サービスの概要

①食事(但し食材料費は別途いただきます)

パドマ館では、管理栄養士の立てる献立表により、栄養並びにご利用者の身体の状況および嗜好を考慮した食事を提供します。

食事時間 昼食 パドマ館 12:15～13:00

②入浴

歩けない方でもリフト浴で座ったまま入浴することができます。

③排泄

ご利用者の排泄の介助を行います。

④機能訓練

機能回復訓練指導員と共に、ご利用者の心身等の状況に応じて、日常生活を送るのに必要な機能の回復またはその減退を防止するための訓練等を実施します。個別の機能訓練実施計画を策定し、これに基づきサービスを提供します。別添にて説明の上同意を得ます。

⑤健康管理

看護職員が健康管理を行います。

⑥栄養改善

低栄養状態にある者又はそのおそれのあるご利用者を対象に、管理栄養士が看護職員等と共同して栄養ケア計画を作成し、サービスを実施し栄養状態の改善に努めます。

⑦口腔機能向上

口腔機能低下の重症化予防、維持、回復に繋がる観点から、介護職員等が実施可能な口腔スクリーニングを行います。

⑧若年性認知症

若年性認知症のご利用者を対象に、ご利用者の特性やニーズに対応したサービスを提供します。

⑨定例行事及び全員参加するレクリエーションを企画し実施しています。

⑩科学的介護推進

自立支援・重度化防止を目的として厚生労働省へ情報提供を行い利用者の状態に適した介護サービス提供に努めます。

(12)介護保険給付によるサービス利用料金(1日あたり)

下記の料金表によって、ご利用者の要介護度に応じたサービス利用料金から介護保険給付費額を除いた金額(自己負担額:政令で算定方法及び政令で定める額)をお支払い下さい。

(サービスの利用料金はご利用者の要介護度に応じて異なります。)ただし、「(サービス点数の総合計)×(介護職員等処遇改善加算 9.2%)×(地域加算 10.45 円)」で計算しますので端数にわずかな誤差が生ずる場合があります。

① パドマ館デイサービスセンター通所介護費（1割負担の場合）

（6時間以上7時間未満の場合）

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1 サービス利用料金	6,102 円	7,200 円	8,318 円	9,415 円	10,533 円
2 うち、介護保険から 給付される金額	5,491 円	6,480 円	7,486 円	8,473 円	9,479 円
3 サービス利用に係 る自己負担額	611 円	720 円	832 円	942 円	1,054 円

（3時間以上4時間未満の場合）

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1 サービス利用料金	3,866 円	4,420 円	5,005 円	5,569 円	6,144 円
2 うち、介護保険から 給付される金額	3,479 円	3,978 円	4,504 円	5,012 円	5,529 円
3 サービス利用に係 る自己負担額	387 円	442 円	501 円	557 円	615 円

加算金額

	入浴 加算Ⅰ （回数）	サービス 体制強化 Ⅱ加算 （回数）	口腔栄養 スクリーニ ング加算 Ⅰ（6 か月 に1回/月 額）	科学的 介護推進 体制加算 （月額）	ADL 維持加算Ⅲ （月額）
1 サービス利用 料金	418 円	188 円	209 円	418 円	31 円
2 うち、介護保 険から給付され る金額	376 円	169 円	188 円	376 円	28 円
3 サービス利用 に係る自己負 担額	42 円	19 円	21 円	42 円	3 円

② パドマ館デイサービスセンター通所介護費（２割負担の場合）

（６時間以上 ７時間未満の場合）

要介護度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
１ サービス利用料金	6,102 円	7,200 円	8,318 円	9,415 円	10,533 円
２ うち、介護保険から 給付される金額	4,881 円	5,760 円	6,654 円	7,532 円	8,385 円
３ サービス利用に係 る自己負担額	1,221 円	1,440 円	1,664 円	1,883 円	2,096 円

（３時間以上 ４時間未満の場合）

要介護度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
１ サービス利用料金	3,866 円	4,420 円	5,005 円	5,569 円	6,144 円
２ うち、介護保険から 給付される金額	3,092 円	3,536 円	4,004 円	4,455 円	4,915 円
３ サービス利用に係 る自己負担額	774 円	884 円	1,001 円	1,114 円	1,229 円

加算金額（２割負担の場合）

	入浴 加算Ⅰ （回数）	サービス 体制強化 Ⅱ加算 （回数）	口腔栄養 スクリーニ ング加算 Ⅰ（６か月 に１回/月 額）	科学的 介護推進 体制加算 （月額）	ADL 維持加算Ⅲ （月額）
１ サービス利用 料金	418 円	188 円	209 円	418 円	31 円
２ うち、介護保 険から給付され る金額	334 円	150 円	167 円	334 円	25 円
３ サービス利用 に係る自己負 担額	84 円	38 円	42 円	84 円	6 円

③パドマ館デイサービスセンター通所介護費（3割負担の場合）

（6時間以上7時間未満の場合）

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1 サービス利用料金	6,102 円	7,200 円	8,318 円	9,415 円	10,533 円
2 うち、介護保険から 給付される金額	4,271 円	5,040 円	5,822 円	6,590 円	7,373 円
3 サービス利用に係 る自己負担額	1,831 円	2,160 円	2,496 円	2,825 円	3,160 円

（3時間以上4時間未満の場合）

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1 サービス利用料金	3,866 円	4,420 円	5,005 円	5,569 円	6,144 円
2 うち、介護保険から 給付される金額	2,706 円	3,094 円	3,503 円	3,898 円	4,300 円
3 サービス利用に係 る自己負担額	1,160 円	1,326 円	1,502 円	1,671 円	1,844 円

加算金額（3割負担の場合）

	入浴 加算Ⅰ （回数）	サービス 体制強化 Ⅱ加算 （回数）	口腔栄養 スクリーニ ング加算 Ⅰ（6 か月 に1回/月 額）	科学的 介護推進 体制加算 （月額）	ADL 維持加算 Ⅲ（月額）
1 サービス利用 料金	418 円	188 円	209 円	418 円	31 円
2 うち、介護保 険から給付され る金額	293 円	132 円	146 円	293 円	22 円
3 サービス利用 に係る自己負 担額	125 円	56 円	63 円	125 円	9 円

(13) 介護保険の給付対象とならないサービス

以下のサービスは、利用料金の全額がご利用者の負担となります。

1. サービスの概要と利用者の負担額

① 介護保険給付の支給限度額を超えてサービスを受けた場合

介護保険給付の支給限度額を超えてサービスを利用される場合は、前記に記載したサービス利用料金表に定められた「サービス利用料金」欄の全額（自己負担額ではありません）が必要となります。

② 複写物の交付

ご利用者は、サービス提供についての記録その他複写物を必要とする場合には、実費相当分をご負担いただきます。（1枚につき10円）

③ 食事代（食材料費） ご利用者に提供する食事の材料にかかる費用です。

830 円（昼食費 700 円 おやつ代 130 円） 口座引き落としになります。

前日17時までに連絡が無く当日に利用中止とされた場合は実費をいただきます。

④ レクリエーション・クラブ活動の参加費

ご利用者の希望により、レクリエーションやクラブ活動に参加していただくことができます。ただし、利用料金・材料代等についての実費をいただくことがあります。

⑤ 日常生活上必要となる諸費用実費

日常生活品の購入代金等ご利用者の日常生活に要する費用でご利用者に負担いただくことが適当であるものは実費をご負担いただきます。

⑥ 理髪

理容師の出張による理容サービス（調髪、顔剃）をご利用いただけます。

利用料金： 実費 （口座引き落とし）

パドマ館デイは第3週の月曜日、火曜日の2日間程実施しています。

⑦ おむつ代 実費相当額

(14) 利用料金のお支払い方法

サービス利用料金は1カ月ごとに計算し、下記にてお支払いいただきます。

なお1ヶ月に満たない期間については、利用日数に基づいて計算します。

ご指定の金融機関口座から 月末締切りの翌月26日（但し金融機関が休みの場合は その翌日）に自動引落しさせていただきます。

(15) サービスの利用をやめる場合

利用期間満了の7日前までに利用者から利用終了の申入れがない場合には、契約は更に6か月間(要介護認定期間)同じ条件で更新され、以後も同様となります。

契約期間中は、以下のような事由がない限り、継続してサービスを利用することができますが、仮にこのような事項に該当することになった場合には、当事業所との契約は終了します。

- ① ご利用者が死亡した場合
- ② 要介護認定によりご契約者の心身の状況が自立と判定された場合
- ③ パドマ館が解散した場合、破産した場合又はやむを得ない事由により事業所を閉鎖した場合
- ④ 施設の滅失や重大な毀損により、ご利用者に対するサービスの提供が不可能になった場合
- ④ パドマ館が介護保険の指定を取り消された場合又は指定を辞退した場合
- ⑤ ご利用者から解約又は契約解除の申し出があった場合(詳細は以下をご参照下さい。)
- ⑦ パドマ館から契約解除を申し出た場合(詳細は以下をご参照下さい。)

1. ご利用者からの解約・利用解除の申し出がある場合

利用の有効期間中であっても、ご利用者から利用契約の全部又は一部を解約することができます。その場合には利用終了を希望する日の7日前までに解約・解除届出書をご提出下さい。

ただし、以下の場合には、即時に利用の全部又は一部を解約・解除することができます。

- ① 介護保険給付対象外サービスの利用料金の変更に同意できない場合
- ② 当法人の運営規程の変更に同意できない場合
- ③ ご利用者が入院された場合(一部解約はできません)
- ④ 利用者の「居宅サービス計画(ケアプラン)」が変更された場合(一部解約は出来ません)
- ⑤ パドマ館もしくはサービス従事者が正当な理由なく本契約に定めるサービスを実施しない場合
- ⑥ パドマ館もしくはサービス従事者が守秘義務に違反した場合
- ⑦ パドマ館もしくはサービス従事者が故意又は過失により、ご利用者の身体・財物・信用などを傷つけ、または著しい不信行為その他本契約を継続しがたい重大な事情が認められる場合。
- ⑧ 他の利用者がご利用者の身体・財物・信用等を傷つけた場合もしくは傷つける具体的な恐れがある場合やハラスメント行為において、パドマ館が適切な対応をとらない場

合。

2、当事業所から契約解除の申し出がある場合

以下の事項に該当する場合には、本利用の全部又は一部を解除させていただくことがあります。

- ① ご利用者が契約締結時にその心身の状況及び病歴等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行い、その結果本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合。
- ② 利用者によるサービス利用料金の支払いが3カ月以上遅延し、相当期間を定めた催告にもかかわらずこれが支払われない場合。
- ③ 利用者が、故意又は重大な過失により事業者又はサービス従事者もしくは他の利用サービス等の財物・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為を行うことなどによって、本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合。
- ④ 利用者の行動が他の利用者もしくはサービス従事者の生命、身体、健康に重大な影響を及ぼすおそれがある、あるいは、ご利用者が重大な自傷行為(自殺にいたるおそれがあるような場合)を繰り返すなど、契約を継続しがたい重大な事情が生じた場合。

3. 契約の一部が解約または解除された場合

本契約の一部が解約又は解除された場合には、当該サービスに関わる条項はその効力を失います。

4. 利用の終了に伴う援助

利用が終了する場合には、事業者はご利用者の心身の状況、置かれている環境等を勘案し必要な援助を行うよう努めます。

(16)サービス提供における事業者の義務

パドマ館は、ご利用者に対してのサービスを提供するにあたって、ご利用者の生命、身体、生活環境等の安全やプライバシーの保護などについて次のように配慮します。

- ① ご利用者の生命・身体・財産の安全に配慮します。
- ② ご利用者の体調・健康状態からみて必要な場合には、医師又は看護職員と連携の上、ご利用者とご家族の意志を確認し対応します。
- ③ 非常災害に関する具体的計画を策定するとともに、ご利用者に対して、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行います。
- ④ ご利用者に提供したサービスについて記録を作成し、5年間保管するとともに、ご利用

者の請求に応じて閲覧させ、複写物を交付します。

- ⑤ ご利用者に対する身体的拘束その他行動を制限する行為を行いません。

ただし、ご利用者または他の利用者等の生命・身体を保護するために緊急やむを得ない場合には、記録を記載するなど適正な手続により身体等を拘束する場合があります。

- ⑥ ご利用者へのサービス提供時において、ご利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合には、速やかに主治医又はあらかじめ定めた協力医療機関への連絡を行う等必要な処置を講じます。

- ⑦ パドマ館及びサービス従事者または従業員は、サービスを提供するにあたって知り得たご利用者またはご家族等に関する事項を正当な理由なく、第三者に漏洩しません(守秘義務)。

ただし、ご利用者に医療上の必要がある場合には、医療機関等にご契約の心身等の情報を提供します。

また、ご利用者との利用終了に伴う援助を行う際には、ご利用者の同意を得ます。

(17)サービスの利用に関する留意事項

1. 施設・設備の使用上の注意

- ① 共用施設、敷地をその本来の用途に従って利用して下さい。
- ② 故意に、またはわずかな注意を払えば避けられたにもかかわらず、施設・設備を壊したり、汚したりした場合には、ご利用者に自己負担により原状に復していただくか、又は相当の代価をお支払いいただく場合があります。
- ③ パドマ館の職員や他の利用者に対し、迷惑を及ぼすような宗教活動・政治活動・営利活動、金銭・物のやりとり等などを行うことはできません。

2. 喫煙

事業管理者が指定した喫煙スペース以外での喫煙はできません。

3. その他留意事項

適切なサービスの提供を確保する観点から、職場において行われる性的又は優越的な関係を背景とした言動などにより、サービス従業者等の就業環境が害されることを防止する方針により事業所が運営されています。

(18)感染症まん延防止の対応について

事業者は事業所において、感染症が発生し、又はまん延しないように、次の各号に掲げる措置を講じるものとします。

1. 事業所における感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会をおおむね6カ月に1回以上開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ります。
2. 事業所における感染症の予防及びまん延防止のための指針を整備します。
3. 事業所において、従業者に対し、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を定期的実施します。

(19) 業務継続計画の策定等について

事業所は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための計画、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い、必要な措置を講じるものとする。

1. 事業者は、従業者に対し、業務継続計画について説明、周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施するものとします。
2. 事業所は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとします。

(20) 虐待防止に関する事項について

事業所は、利用者の人権の擁護、虐待等の発生又はその再発を防止のため、次の各号に掲げる措置を講じるものとします。

1. 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ります。
2. 虐待の防止のための指針を整備します。
3. 従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的に6ヵ月に1回以上実施する。
4. その他虐待防止のために必要な措置を講じます。
5. 前4号に掲げる措置を適切に実施するための専任担当者を置きます
6. 事業所は、サービスの提供中に、当該事業所の従業者又は養護者（利用者の家族など高齢者を現に養護するもの）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかにこれを市町に通報するものとします。

(21) 事故発生時の対応について

事故が発生した場合には、契約者やその家族に対し速やかに状況を報告・説明し、その被害の拡大防止をはかるなど必要な措置を講じます。

(22) 損害賠償について

パドマ館において、事業者の責任によりご契約者に生じた損害について当法人はその損害を賠償いたします。ただし、その損害の発生について、利用者に故意又は過失が認められる場合には、利用者の置かれた心身の状況を斟酌して相当と認められる場合には、当法人の損害賠償責任を減じる場合があります。

- ① 当法人は、自己の責めに帰すべき事由がないかぎり損害賠償責任を負いません。特に以下の各号に該当する場合には、当法人は損害賠償を免れます。
- ② 契約者（その家族も含む）が契約締結に際し、その心身の状況及び病歴等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行ったことにもつぱら起因して損害発生した場合。

- ③ 契約者(その家族も含む)が、サービスの実施にあたって必要な事項に関する聴取・確認に対して故意にこれを告げず、または不実の告知を行ったことにもつぱら起因して損害が発生した場合。
- ④ 契約者の急激な体調の変化等、事業者の実施したサービスを原因としない事由にもつぱら起因して損害が発生した場合。
- ⑤ 契約者がパドマ館もしくはサービス従事者の指示等に反して行った行為にもつぱら起因して損害が発生した場合。

当事業所は民間企業の提供する損害賠償保険に加入しています。

前項規定の賠償に相当する可能性がある場合は、契約者又はご家族の方に当該保険の調査等の手続きにご協力頂く場合があります。

保険契約内容については、利用者からの要請により開示することができます。

保険会社名: あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
保険名: 損害賠償保険

(23) 苦情の受付について

1. パドマ館デイサービスにおける苦情の受付

当施設における苦情やご相談は以下の専用窓口で受け担当を実施します。

2. 苦情受付担当者

パドマ館デイサービス 今里 佳世

3. 第三者委員

鈴木 稲弘 090-1073-8437

木ノ下 行徳 090-5163-0270

4. 苦情解決責任者

[氏 名] 吉永 誠二

なお、苦情の受付窓口は、受付担当者となります。また、第三者委員も直接苦情を受け付けることができます。また、第三者委員は苦情解決を図るために双方への助言や話し合いの立ち会いなども致します。苦情解決責任者は、苦情の申し出をされた方と話し合いによって円満な解決に努めます。

5. 機関その他の苦情受付機関

国民健康保険団体連合会	所在地 神戸市中央区三宮町1丁目9番1-1801号 電話番号 (078)332-5617 FAX (078)332-5650 受付時間 9:00~17:15(月曜日~金曜日)
伊丹市介護保険課	所在地 伊丹市千僧1丁目1番地 電話番号 (072)784-8037 FAX (072)784-8036 受付時間 9:00~17:15(月曜日~金曜日)
宝塚市健康福祉部 介護保険課	所在地 宝塚市東洋町1番1号 電話番号 (0797)77-2136 FAX (0797)77-2038 受付時間 9:00~17:30(月曜日~金曜日)

改訂 令和 7 年 4 月 1 日

令和 年 月 日

パドマ館の指定通所介護サービスの提供の開始に際し、本書面に基づき重要事項の説明を行いました。

事業者 伊丹市中野西 1 丁目 18 番地
社会福祉法人 明照会
理事長 善 部 修 (印)

パドマ館デイサービスセンター

担当職員(氏名) (印)

私は、本書面に基づいて事業者から重要事項の説明を受け、指定通所介護サービスの提供開始に同意しました。

契約(利用)者 住 所
氏 名 (印)

私は、契約者が事業者から重要事項の説明を受け、指定通所介護サービスの提供開始に同意したことを確認しましたので、私が、利用者に代わって署名を代行いたします。

署名代行者 住 所
氏 名

(契約者との関係)